

**令和4年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和4年12月
海老名市立杉本小学校**

令和4年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- (1)教科に関する調査(国語, 算数・数学及び理科)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

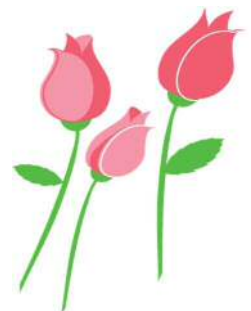
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和4年4月19日(火)

※児童生徒質問紙調査について、一部の学校で、端末を活用したオンラインによる回答方式で実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し言葉と書き言葉との違いを理解することができるかどうかをみる。
- ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることができるかどうかをみる。
- ・必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉えることができるかどうかをみる。
- ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像することができるかどうかをみる。
- ・表現の効果を考えることができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるかどうかをみる。
- ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。
- ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 話し言葉と書き言葉との違いを理解すること。
- 登場人物の相互関係について、描写を基に捉えること。
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像すること。
- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。

◆課題のある点

- 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えること。
- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめること。
- 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 話し合い活動や読む学習の中で、相手の発言の理由や根拠を、それらを表す言葉の特徴を手がかりに、意識的に見つけるように指導していきます。また、それらの言葉を使って話したり書いたりすることができるように指導していきます。
- 自分の考えや立場を明らかにし、相手の意図を認識しながら、要点を押さえて話し合うことができるよう、型を示して指導していきます。広げ、深めた自分の考えを適切にまとめることができるようにしていきます。
- 文章に対して、書かれた内容のよさを見つけ、叙述から適切に表現できるように指導していきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・二つの数の最小公倍数を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できるかどうかをみる。
- ・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できるかどうかをみる。
- ・百分率で表された割合を分数で表し、基準量から、比較量を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。
- ・二つの数量が比例関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができるかどうかをみる。
- ・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できるかどうかをみる。
- ・目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・加法と乗法の混合した数の求め方を解釈し、他の場合の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できるかどうかをみる。
- ・長方形・ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解しているかどうかをみる。
- ・作図手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めること。
- 目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ること。
- 長方形・ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解していること。

◆課題のある点

- 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察すること。
- 示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解していること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 示された場面において、概数を用いて大まかな数値を把握することで容易に比較できることや、その考え方を理解できるように日常生活の事象を通して指導していきます。また、概数を活用する目的を明確にし、必要な情報を選び出す活動を数多く取り入れていきます。
- 数量と割合の関係を児童の生活経験に即した色彩や味覚などの内容を扱い、割合をイメージしながら基準量と比較量を求められるように指導していきます。

小学校 理科

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・昆虫の体のつくりを理解しているかどうかをみる。
- ・提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・メスシリンダーという器具を理解し、正しい扱い方を身に付けているかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・日光は直進することを理解しているかどうかをみる。
- ・実験の過程や得られた結果を適切に記録しているかどうかをみる。
- ・実験や観察で得た結果を解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつこと。
- 提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつこと。
- 観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつこと。
- 最後まであきらめずに問題に取り組もうとしていること。

◆課題のある点

- 凍った水溶液について、自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつこと。
- 光の性質について、実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつこと。
- 記述して答えること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 話し合い活動の中で、自分と他者の気付きを比較しながら、その差異点や共通点に目を向け、新たな問題を見出していくような場面を設定します。
- 実験や観察の記録の仕方を工夫して互いの結果を比較しやすくし、児童が他者の考えや意見を受け入れ、自分の考えを柔軟に見直せるようにする場面を設定します。
- 実験や観察を計画する際には、問題に対する予想や仮説を基に解決の方法を発想するように促し、得られた結果はその予想や仮説に基づいて分析・解釈し、自分の考えをもつことができるように繰り返し指導します。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○国語・算数・理科ともに「国語(算数・理科)の勉強は大切だと思いますか」に対して、ほぼ全員が「大切だと思う」と答えています。また、どの教科においても、「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えている割合が高くなっています。

○授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している児童が全国平均に比べて高く、自分の考えを発表することへの意欲がうかがえます。

◆本校の課題と思われるところ

○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができるかと答えている児童の割合がやや低くなっています。

生活について

◆本校のよかったところ

○約9割の児童が同じくらいの時刻に起床することができます。また、ほぼ全員の児童が朝食を毎日食べ、一日をスタートすることができます。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」だと思っている児童が多数を占めています。「いじめはいけない」ということの意味を深めていることがうかがえます。

◆本校の課題と思われるところ

○「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」と答えている児童の割合がやや低くなっています。

今後の具体的な取組について

○国語科の校内研究において、かかわり合う活動の中で、自分の考えの形成を促す学習を計画し、主体的な子どもの育成に取り組んでいます。児童相互がかかわり合うことで、考えを深め、自分の学びを振り返り、学んだことを次の学びにつなげることができるように支援していきます。

○学校での学習や活動において、児童のよいところを認め、児童が自分に自信をもてるような声かけをしていきます。また、問題にぶつかったときに、児童全員がお互いに支え合うことができる学級づくりをするとともに、児童一人ひとりの自己肯定感を高めていきます。

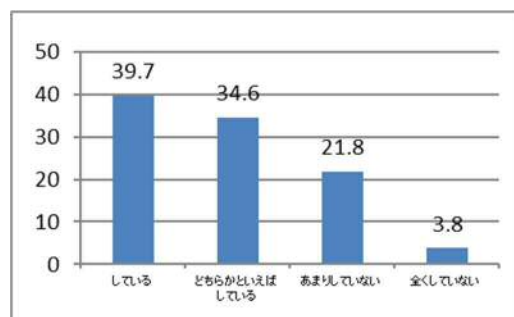
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1

規則正しい生活を送りましょう。

起床時刻に比べて、就寝時刻にばらつきがあります。夜更かしをしたり、テレビやゲームの画面から強い刺激を受けたりすると、睡眠の質が低下すると言われてます。就寝前の過ごし方を見直し、規則正しい生活を送りましょう。



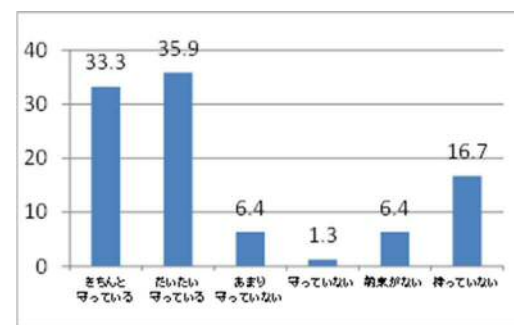
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

2

ルールを決めて使用しましょう。

携帯電話・スマートフォンやコンピュータに関しては、使い方の約束を守れていると答えた割合がやや低くなってきています。

児童が適切に使用できるように、定期的にご家庭で話し合い、ルールを決めて使用しましょう。

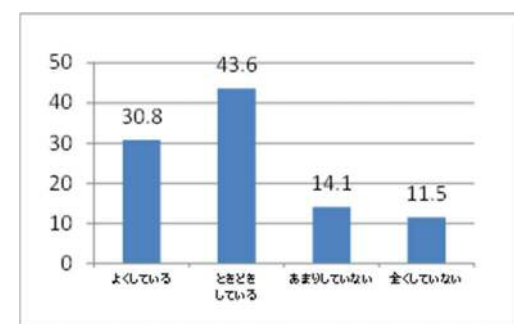


携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っていますか

3

計画的に家庭学習に取り組みましょう。

家で、自分で計画を立てて学習に取り組んでいる割合は、以前より少し低くなってきています。自学自習の習慣を身につけるために児童自らが計画を立てて学習に取り組めるような支援を図りましょう。

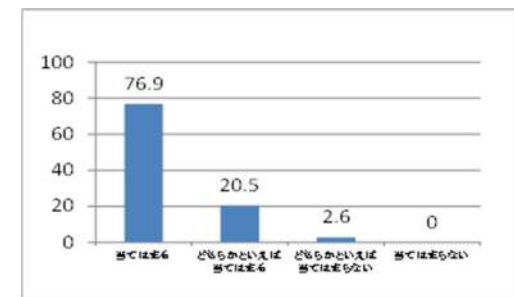


家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

4

よいところを認め、将来について語り合いましょう。

人の役に立ちたいと思っている児童が多いです。とてもすばらしいことです。これからの共生社会では、お互いに支え合い、助け合っていきます。お子さんのよいところを認め、将来について語り合いましょう。



人の役に立つ人間になりたいと思いますか

結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様により市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係